

CB200-DX スピーカーキット

組立説明書



CB200-DX キット写真



完成写真（正面）



完成写真（背面）



ミクセル CB200-DX は高音質サウンドを追及した 2 ウェイスピーカーキットです。バッフル板やフットには天然木ブナ合板を使用しています。また、スピーカーユニットやネットワークにも高品質な部品を採用して高音質を追及しています。

■完成時仕様

型式：2 ウェイリアポートバスレス型

使用ユニット：Vifa DX25TG05-04、25mm ソフトドームツイーター、Vifa P13WH00-08、13cm ウーファー

インピーダンス：8Ω

感度：88dB

内容積：7.8 リットル

バスレフポート径：40mm

寸法：幅 225mm(フット部 243mm) 奥行約 295mm 高さ 410mm

■組立に必要な工具

木工用ボンド、かなづち、スパナ（ペンチ等で代用可能）、濡れた雑巾等（はみ出た木工用ボンドのふき取り用）ハンダ、半田ごて

■塗装に必要な物

塗料、筆、サンドペーパー

■塗装について

塗装は組み立ててから行う事も可能ですが、仕上りのキレイさや手間を考えると部品の時に行う方が良いと思います。

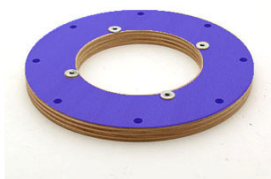
■塗装のコツ

塗料を塗る前に木材の表面を滑らかにするのがキレイな塗装面を作るコツです。ブナ合板や MDF の切断面は 160 番程度のサンドペーパーである程度滑らかにしてから 320 番くらいで仕上げを行います。ブナ合板の表面は 320 番程度で仕上げます。MDF の表面はかなり滑らかですのでペーパーで仕上げる必要はありません。どちらにしても 1 回目の塗料を塗った後は表面が少しざらつきますので、320～400 番程度のペーパーで滑らかにしてから 2 回目の塗料を塗ります。

ブナ合板の部品に塗装を行う場合のご注意

以下の様な接合面には塗装をしないようにしてください。両面に塗装すると塗料が密着して、はずした時に塗装面が剥がれる事があります。

・ バッフル板の裏側



・ 前側フットの裏側



・ ポートの裏側



■組立時のご注意



- ・ ブナ合板や MDF の部品を扱う時は、角部分等が荒くなっている事がありますので、十分にご注意下さい。
- ・ 塗装をする時は換気にご注意下さい。
- ・ ラッカー塗料やラッカーシンナーを使用する場合は十分火気にご注意下さい。

製造元



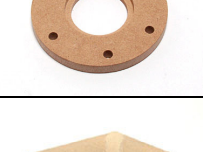
UNIQUE Design QUALITY Sound

有限会社ミクセル

兵庫県西宮市堀切町 8-38-502

TEL 0798-34-2238

構成部品 1ペア=2台分の部品が入っています。

番号	部品名称	数量	外観写真
1	メインバッフル板 (ブナ合板)	2	
2	前側フット (ブナ合板)	2	
3	後側フット (ブナ合板)	2	
4	円筒紙管 (リアバッフル板 とバスレフポート 組立済み)	2	
5	バッフル板 (ブナ合板)	2	
6	リアバッフル板 (MDF)	2	
7	ターミナル (赤)	2	
8	ターミナル (黒)	2	
9	吸音材 (大)	2	
10	吸音材 (小)	2	
11	バスレフポート取 付板 (MDF)	2	
12	バスレフポート	2	

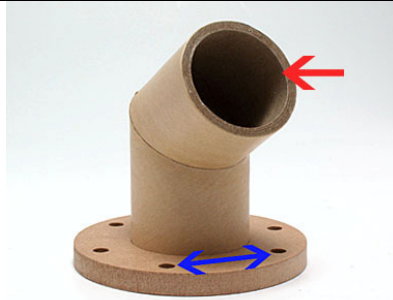
番号	部品名称	数量	外観写真
13	鬼目ナット M8 (前側フット用)	4	
14	鬼目ナット M5 (バッフル板取付 用)	16	
15	鬼目ナット M4 (ユニット取付板 用)	8	
16	六角ボルト M8 (前側フット用)	4	
17	六角ボルト M5 (バッフル板用)	16	
18	六角ボルト M4 (ユニット取付用)	8	
19	六角ボルト M3 (ツイーター取付 用)	12	
20	六角レンチ M8 六角レンチ M5 六角レンチ M4	各 1	
21	M4 爪付ナット六角 ボタンボルト (バスレフポート 取付用)	角 12	
22	ウーファー Vifa 製 P13WH00-08	2	
23	ツイーター Vifa 製 DX25TG05-04	2	
24			

組み立て手順

円筒紙管部



円筒紙管部はリアバッフル板とバスレフポートが予め接着されています。



←バスレフポートをバスレフポート取付板に接着します。ポート入口（赤矢印）を取付穴の中心間隔（青矢印）が 48mm の方向に来るように接着します。ポートの長い方をポート取付板に接着します。

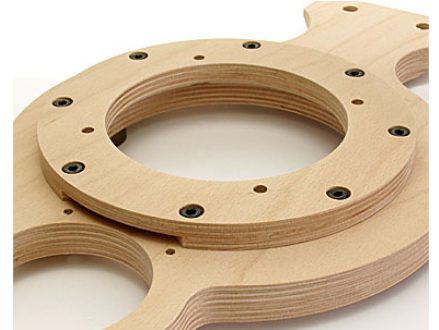
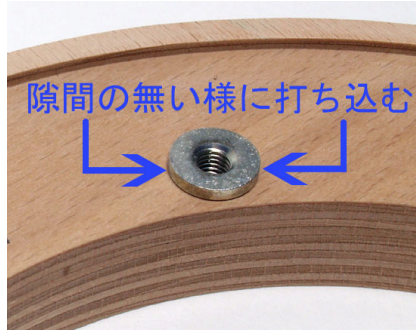
★円筒部分に塗装を行う場合は、この時点で行うと便利です。

鬼目ナットの取り付け

円筒部、バッフル板、フット前側、フット後側の塗装を行います。各部品の接着部、バッフル板に装着済み鬼目ナットのネジ穴部分に塗料を塗らないように気をつけます。



メインバッフル板に M5 鬼目ナット（各 8 個）をかなづちで打ち込みます。間隔の無い様に直角に打ち込みます。



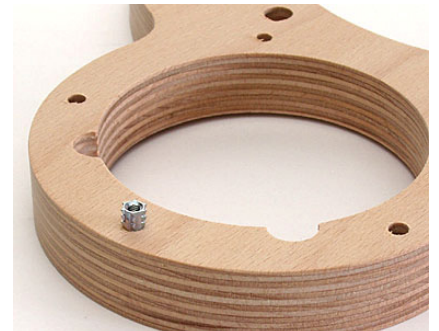
（重要です！）鬼目ナットが正確に打ち込まれているか、バッフル板を M5 ボルトで付けてチェックします。



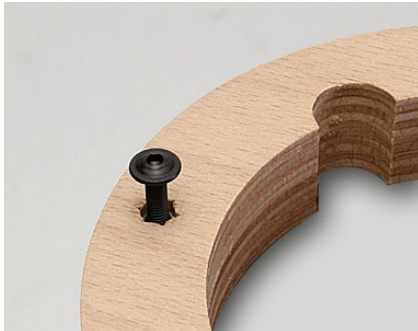
メインバッフルの下部に鬼目ナット M8（各 2 個）を打ち込みます。



バッフル板の裏面に鬼目ナット M4（各 4 個）を打ち込みます。



メインバッフル板の表側から M3 鬼目ナットを打ち込みます。



鬼目ナットに M3 六角ボルトをねじ込んでかなづち等でバッフル板の表面より奥まった位置に配置されるように（2mm 位）打ち込みます。M3 六角ボルトは 2 本余分に入っています。

組立

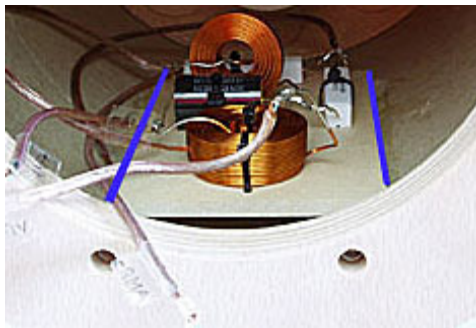


メインバッフル板を平らな所において円筒部に木工用ボンドを十分に塗って接着します。本などを沢山載せて重しにして、確実に固定します。はみ出た接着剤は濡れた雑巾で拭き取ります。

後側フットを接着剤を十分に塗って接着します。上の矢印のようにフットの上端と溝のエンドを合わせます。**※ここで接着に必要な時間が経ってから次の工程に進んで下さい。**



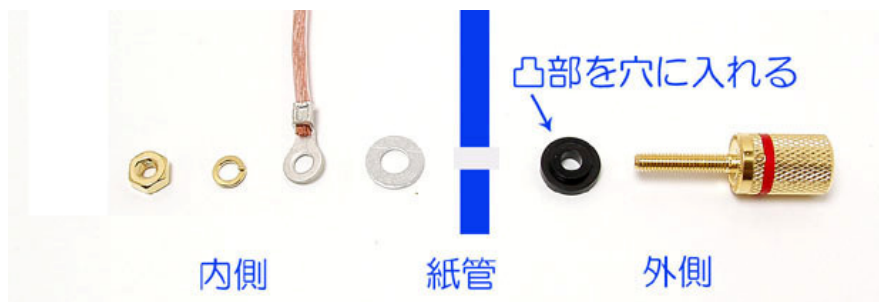
フット前を M8 六角ボルトで取り付けます。



ネットワークを円筒の内部に取り付けます。大きい方のコイル (1.0mH) が手前側 (メインバッフル側) に来るようにします。ネットワークのベースの両端に接着剤を塗って接着します (青色の所)。ターミナルのスペースが必要ですのでメインバッフル裏面から 5cm 程度はなして接着します。あまり奥に接着しますとバスレフポートと接触することがあります。**※ここで接着に必要な時間が経ってから次の工程に進んで下さい。**



ターミナルを取り付けます。ネットワークの「AMP+」をターミナルの赤に取り付けます。「AMP-」(2 個あります) をターミナルの黒に取り付けます。



ターミナル部品の取付順番です。



ターミナル内側の写真。マイナス側には 2 個の圧着端子が付きます。



吸音材（大）を円筒部の周囲に配置します。



吸音材（小）をポートの上に配置します。



ツイーター用の配線をウーファーボックスとツイーターボックスの間隔から引き出します。



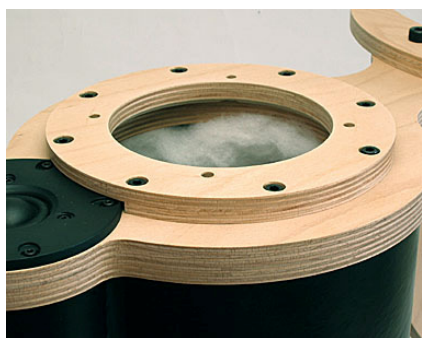
バスレフポートを M4 ボタンボルトで取り付けます。



円筒部の下に板などを置いて安定させると作業が行いやすくなります。



「TW+」とツイーターの+を接続します。「TW-」とツイーターの-を接続します。M3 六角ボルトで固定します。



バッフル板を M5 六角ボルトで固定します



「WF+」とウーファ-の+を接続します。「WF-」とウーファ-の-を接続します。M4 六角ボルトで固定します。



完成です。

★アフターケア

バスレフポートの中に吸音材を入れますと低音の量感の調節ができます。背面の壁との距離がとれない場合またはお好みで調整ください。吸音材を少し入れるだけでも変わる場合があります。

完成後しばらく経ちますと振動や木材が乾燥して板厚が薄くなるなどの原因でボルトが緩んできます。その時はボルトを増し締めしてください。特にバッフル板とメインバッフル板を接合している M5 ボルト（8 本）は緩んできますと音質を損なう場合がありますのでご注意ください。前側フットは木工用ボンドなどで完全に固定しても良いと思います。